



発行所

第3後方支援連隊

第1科広報

〒664-0014

兵庫県伊丹市広畑1-1

電話 072-781-0021

内線 3403

記事内容

- 1面 第3師団創立65周年千僧駐屯地創設75周年記念行事
- 2面 第1・2回連隊野営
- 3面 令和8年度自衛官候補生教育隊
- 4面 コラム(今後の夢、職務の紹介及び陸曹への決意、課外の有意義な使い方)
- 5面 コラム(大久保駐屯地文化展に出席して、自衛隊に入隊してよかったこと、おすすめの旅先、部隊のいいところ)
- 6面 コラム(今後の夢・目標、私の職務)、連隊広報特集

第3師団創立65周年

千僧駐屯地創設75周年記念行事



令和8年5月24日(日)

第3師団創立65周年千僧駐屯地創設75周年記念行事

「継承と革新」地域とともに
「つむぐ」が千僧駐屯地
にて行われました。

記念行事の練成期間中は、荒天の中行われましたが、当日は晴天に恵まれ夏らしい日差しが降り注ぐ中、観閲式及び観閲行進が行われました。観閲行進では、師団長へ敬礼ののち観客へ連隊の手旗を振って声援に応えました。

千僧駐屯地北側では装備品展示を行い、第1整備大隊は大型トラックのホイールナット付け外し体験、補給隊は野外入浴セットによる足湯体験、輸送隊は特大型トラックの試乗体験、衛生隊は野外手術システムの見学を行いました。また、バルーンアートや、着ぐるみ及びエアースライダーの勤務員として支援を行い記念行事を盛り上げました。たくさんの方々にご来場いただき、装備品に触れていただくことが出来ました。



連隊集中野営訓練



統裁官指導の様子



車両の偽装



抵抗陣地における警戒



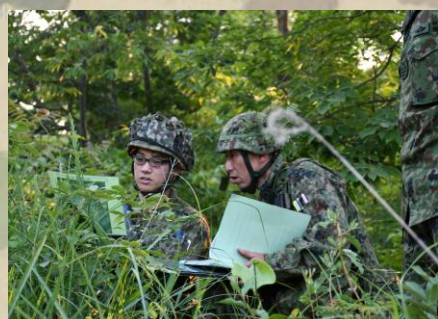
偽装と分散及び退避

連隊は令和8年5月27日から29日の間、青野ヶ原演習場において、また令和8年6月13日から15日の間、饗庭野演習場において、第1回及び第2回連隊集中野営を実施しました。

本訓練は、師団の攻撃における後方支援連隊の行動を演練するとともに、あわせて連隊統制のもとで実施し、各部隊計画に基づく訓練を行った。

その結果、それぞれ所要の成果を収め、無事訓練を終了しました。

この訓練を通して、日々行っている訓練そして、過酷な作戦環境に耐え得るための物品及び各人の健康管理等、【準備の重要性】を改めて隊員が理解することができました。



警戒員配置の確認



状況に応ずる戦闘指導



航空攻撃に連携した化学攻撃対処



夜間の安全化・警戒

令和8年度 自衛官候補生教育隊

令和8年度自衛官候補生教育隊を行いました。

3月31日(火) 不安と期待を胸に千僧駐屯地に着隊、同期との共同生活また自衛官候補生としての生活が始まりました。

4月11日(土) 入隊式を行い、久しぶりに会うご家族に新しい制服姿を見せることが出来ました。



入隊式 記念写真



着隊時の受付



入隊式 ご家族との様子



着隊受付後の営内の様子

4月17日(金) 第1回体力検定を行い、入隊当初の体力を自身で知ることが出来ました。腕立てでは初めて行う隊員もおりこれからの伸びしろに期待出来るような予感がしました。



ガス体験



25m射撃 伏せ打ち



ガス体験中



25m射撃 双眼鏡で弾痕確認

4月28日(火) 初めての実弾を用いた25m射撃を行い、双眼鏡を使って弾痕を確認しました。
5月12日(火) ガス体験を行い、催涙ガスが充満している天幕の中で防護マスクの性能を確認したのち防護マスクを外して催涙ガスの脅威を体感しました。



体力検定 腕立て



体力検定 3000m走



戦闘訓練 (青野ヶ原演習場)



市街地戦闘訓練 (青野ヶ原演習場)

6月9日(火) 総合訓練を青野ヶ原演習場で行い、これまでに課程教育で学んだ成果を遺憾なく発揮した戦闘訓練を実施しました。
同日、市街地訓練場において戦闘訓練も実施しました。



10km行軍 (伊丹駐屯地)



25km行軍 (青野ヶ原演習場)

5月22日(金) 10km行軍を伊丹駐屯地で行い、重たい背のうを背負い区隊が一丸となって完歩しました。
5月28日(木) 25km行軍を青野ヶ原演習場で行い、途中、足の皮がむけて応急処置を行う隊員や荷物を協力して持つ場面もありましたが、区隊が一つとなって完歩することが出来ました。



修了証書授与

6月28日(日) 修了式を行い、約3か月の自衛官候補生教育隊の最後をご家族に見守られながら修了証書を授与されました。会食ではご家族との笑顔溢れる一時となりました。これから各任地部隊へ着隊される新隊員の皆さんを第3後方支援隊一同応援します。



祝 自衛官候補生修了式

修了式 記念写真

「今後の夢」 本部付隊 柳原1曹

私には、ひとつ小さな夢がある。いつか自分の子どもとオンラインゲームの大会に出ることだ。

大きな目標ではないし、勝ちたいわけでもない。ただ、同じ画面を見て、同じ敵に向かって、同じ瞬間に息をのむ。

そんな時間を親子で共有してみたいと思っている。ゲームは年齢も立場も関係なく、同じフィールドに立てる世界だ。

短い言葉だけで気持ちを通じ、自然と笑い合える子どもと一緒に練習して、一緒に負けて、一緒に喜ぶたい。

大会の日を想像する。

緊張する子どもの横で、私も同じように手が震えている。

「楽しもう」

そう声をかけながら、実は自分が一番ワクワクしている。

勝っても負けてもいい。

その日が来るだけで、もう夢は叶っている。

親としての夢は、大きくなっていい。

ただ「一緒に何かをやる未来」を思い描けるだけで、心が温かくなるのだ。



「職務の紹介及び陸曹への決意」 第1整備大隊 前田士長

私の職務は、師団隷下部隊が保有する化学器材の整備です。所属する化学整備班では、防護マスクや化学防護衣、94式除染装置など化学器材の整備を行い、部隊の任務遂行を支える重要な役割を担っています。しかし、化学整備の特技は陸曹昇任後に付与されるものであるため、現在は陸曹の方々の整備業務を支援する立場にあります。具体的には、器材の準備や点検補助、整備環境の維持などを通じて、円滑な整備業務に貢献できるよう努めています。

自衛官としても、社会人としても未熟であることを自覚しており、化学整備班長をはじめとする皆さんのご指導をいただきながら、ひとつひとつの業務に真摯に取り組んでいます。今後は1日も早く一人前になり、陸曹へ昇任して化学整備の専門性を高めるとともに、化学整備班のみならず第1整備大隊全体に貢献できる戦力になれるよう、引き続き精進してまいります。

「課外の有意義な使い方」

衛生隊 西口1尉

衛生隊 西口一尉です。私は、心身をリフレッシュさせるため、軽い運動や趣味の時間を確保しています。その際、気を付けていることがあります。以前、臨床心理士の方から、健全な心身を保つ工夫として、休日でも起きる（寝る）時間は、普段のプラス2時間以内にして生活リズムを崩さないことが大切と聞き実践していることです。休みだからと言って生活リズムを極端に崩して、余計に疲れることがないように心がけています。



化学防護衣を着用して
除染訓練中の前田士長



晴れて、第1整備大隊アベンジャーズ（除染）の一員となった前田士長（写真左）



「大久保駐屯地文化展に出展して」

第1整備大隊 丸山1曹

第3後方支援連隊第1整備大隊施設整備隊に所属する丸山1曹は、大久保駐屯地文化展に令和5年度から令和7年度にかけて3年連続で作品を出展しました。その結果として、3年連続しての最優秀賞という名誉に輝く快挙を成し遂げることができました。

最初の作品造りのきっかけは、単身赴任中の持て余した課外時間を有効活用するため、彫刻に魂を込めることにしました。木彫りの不動明王を7ヶ月かけて彫り上げました。

2作品目と3作品目は、人気アニメ映画のキャラクターをオマージュした三輪バイクとミニカー（50ccの四輪車）を庭先DIYでコッソコッと作成しました。もちろん2台ともナンバープレートを取得しており、公道を走行することができます。

天気の良い週末には、夫婦二人で2台の作品に乗りツーリングしながら周囲に笑顔と驚きと幸せを振り撒いています。

これからも、見る人が思わず笑顔になる作品を作り続けられるように、更なるDIY技能の向上を目指してまいります。



「自衛隊に入隊してよかったこと」

第2整備大隊 吉田士長

自衛隊に入って良かったことは、入隊してから日々の業務や訓練に参加することで体力やメンタルが鍛えられ、社会人として自衛官として成長出来た事がなによりも良かったと感じています。

次に、日々の生活に充実感を得られることです。現在は営内生活なので、朝夕とバランスの良い食事や訓練で必要な物品が支給され、給料を安定して得ることができ、自分の趣味や貯金を計画的に行えます。また、営内環境も改善され住みやすくなり充実した営内生活を過ごせることが良かったと感じています。



「おすすめの旅先」

輸送隊 丹羽曹長

今回は私のおすすめの観光地、高知県について紹介したいと思います。

私は最近、年に一回以上家族と観光に行くようにしており、色々とおすすめの場所がありますが出身が四国ですので高知県の魅力を紹介します。高知県にも沢山楽しめる場所がありますが、景色を楽しみたいなら桂浜、足摺岬、四国カルスト、仁淀ブルーがキレイな仁淀川等があり、グルメなら約六〇店舗の軒を連ねる「ひろめ市場」でカツオのたたき、ウツボ料理、郷土料理である皿鉢料理等が有名です。子供連れの方にはよさこい祭り、桂浜水族館、アンパンマンミュージアム、山内一豊によって創建された高知城等まだまだ書ききれない程、観光・ショッピング・グルメのすべてを満喫できるので、ぜひ一度訪れてみて下さい。

写真については、高知城と桂浜でどこまでも広がる雄大な太平洋を眺めながら少しイキっている長女になります。



「部隊のいいところ」

第1整備大隊 三角2尉

部隊を自衛隊として捉えてみる。自衛隊の最大の魅力は「人」だ。私は日々の業務を通じ、周囲の姿勢から多くの大切なことを学んできた。先輩方の深みに触れて己の未熟さを知る「無知（むち）の知（ち）」。地味な作業も完璧にこなす「凡事（ぼんじ）徹底（てつてい）」の背中からは「一事（いちじ）が万事（ぼんじ）」という誠実の重みを教わった。尊敬できる仲間にも恵まれたこの環境を当たり前と思わず「知足安分（ちそくあんぶん）」の心で今日も真摯に仕事と向き合う。人から得た学びは、私にとつての財産だ。周囲を見ると、そこには素敵な学びがたくさんあるのだ。



「今後の夢、目標」 第2整備大隊 早柏3曹

私の目標は、心身ともに強く、どのような状況でも冷静に判断し、最後まで諦めず任務を完遂できる隊員になることです。そのために、日々の業務の他、課外の筋力トレーニングや格闘技を継続して行い、心身を鍛えています。また、厳しい訓練において、最後まで諦めずに取り組むことで、精神力の向上にも努めています。今後も努力を継続し、上司や後輩から信頼される隊員を目指します。



「私の職務」 補給隊 中居士長

私は現在、第3後方支援連隊補給隊業務小隊の需品サービス班に所属しています。

普段の業務では、被支援部隊に対する入浴や洗濯の支援を通し、隊員の衛生状態の維持・増進や疲労回復を図るとともに、心身のリフレッシュやリラククスできる環境を提供することで、部隊の士気高揚に貢献しています。

また、広報活動の一環として、創立記念行事や地域行事等で足湯の展示を行っています。足湯を通じて、地域の方々への自衛隊の理解や興味を深めるとともに、心身のリラククスの提供に努めています。

訓練や支援を通し、現在の職務で基礎を確実に身に付け、知識や技能の向上に努め、精進していきます。



〈連隊広報特集〉偽装における注意点

問題 車両の偽装で危険な植物を使用しているのは二つのうちどれ？

A



B



答えは5ページ（左下）に書いてあります。

【ヒント】

演習場等では皮膚に触れると炎症を起こす植物がたくさん生えています。羽状複葉（羽のように広がる葉）や軸が赤い植物は要注意です。

危険な植物の一例

